

# 目次

はじめに *i*

第1章 やってきましたワシントン	1
—アメリカの生命科学研究とNIH—	
◆「ちょっと落ち着きましょう、ジャコブスキーさん」	1
◆NIH よいとこ一度はおいで	4
◆パワフルな所外研究班	12
◆日本に行く人はいないネ	16
第2章 ロビーが強いのだワシントン	22
—科学政策決定の仕組み—	
◆誰が政策を決定するのか？	22
◆“最高を望み、最悪に備える”	25
◆タバコ健康税	29
◆データは肺がんを撲滅せよと語るけど	31
◆タバコを吸ってがんで死ぬ	35
第3章 アメリカの生命科学研究費	39
◆研究大国アメリカ	39
◆健康福祉省・NIH	42
◆農務省、エネルギー省、国防省	50
◆全米科学財団（NSF）	54
◆ハワードヒューズ医学研究所と民間財団	57

<b>第4章 研究グラントの分厚い申請書</b> .....	65
◆ NIH 学術研究費の種類	65
◆ グラントは個人研究が中心だ	68
◆ NIH の研究費は出産と同じ	77
◆ 申請書は48ページ	85
◆ 研究費で自分の給料を出す!	89
◆ RFA、PA、RFP、共同事業、コントラクト	95
<b>第5章 これが例の、あの、うわさのスタディセクションだ</b> .....	102
— 研究グラントの審査 —	
◆ スタディセクションの審査現場から	102
◆ スタディセクションでの審査	106
◆ スタディセクションが終わってすったもんだ	118
◆ スタディセクションの審査員たち	123
◆ ピアレビューシステムのそもそも	126
◆ スタディセクション—P 01 親委員会—	128
◆ 研究所顧問委員会	132
◆ 採択順位表と採択率	138
<b>第6章 科学運営官</b> .....	143
◆ NIH トレーニングコース	143
◆ ケーススタディ	148
◆ プログラムディレクターの人生劇場	151
<b>第7章 研究の倫理</b> .....	156
◆ ねつ造、改変、盗用	156
◆ 著者の基準	161
◆ 人間材料、脊椎動物、性、マイノリティ	163
◆ 研究倫理ガイドラインの模索と教育	169

第8章 パソコン通信で研究費申請 .....177

第9章 日本への5つの提言 .....185

用語解説 192

あとがき 195

